



全国学力・学習状況調査の問題冊子等の活用について

各学校では、学校再開後、児童生徒の安全の確保に細心の注意を払いながら、よりよい学校生活、そして教育活動の充実に尽力されていることと思います。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査の問題冊子等が7月13日（月）～15日（水）に配布されます。県では、「簡易版分析支援ソフト」や「特徴的な問題」等を作成し、学力向上推進チームのHPに掲載しますので、学校の実情に合わせてご活用ください。

全国学力・学習状況調査の問題冊子等の活用方法

1 実態を把握する

(1) 調査問題を実施する

調査日を設定して学年一斉に行う、教科や学級の授業の進み具合等に応じて行うなど、各校の実情に合わせて実施することで、自校の児童生徒の学力と学習状況の実態を把握することができます。

→ **(A) 令和2年度簡易版分析支援ソフト**

(2) 質問紙調査を実施する

基本的な生活習慣や学習習慣等に関する調査項目について、児童生徒の実態を把握することができます。

→ **(A) 令和2年度簡易版分析支援ソフト**

2 授業に生かす

(1) 教科単元の補充・発展問題とする

調査問題を大問単位で分割し、問題に関連する単元の学習後等を実施することで、その単元において身に付けさせたい知識・技能、活用する力の定着の度合いを確認することができます。

→ **(C) 設問別ワークシート**

(2) 授業で課題として取り上げる

調査問題の指導のポイントを確認した上で、授業で調査問題を課題として提示し児童生徒に取り組ませることで、新学習指導要領で求められる力を授業の中で付けていくことができます。

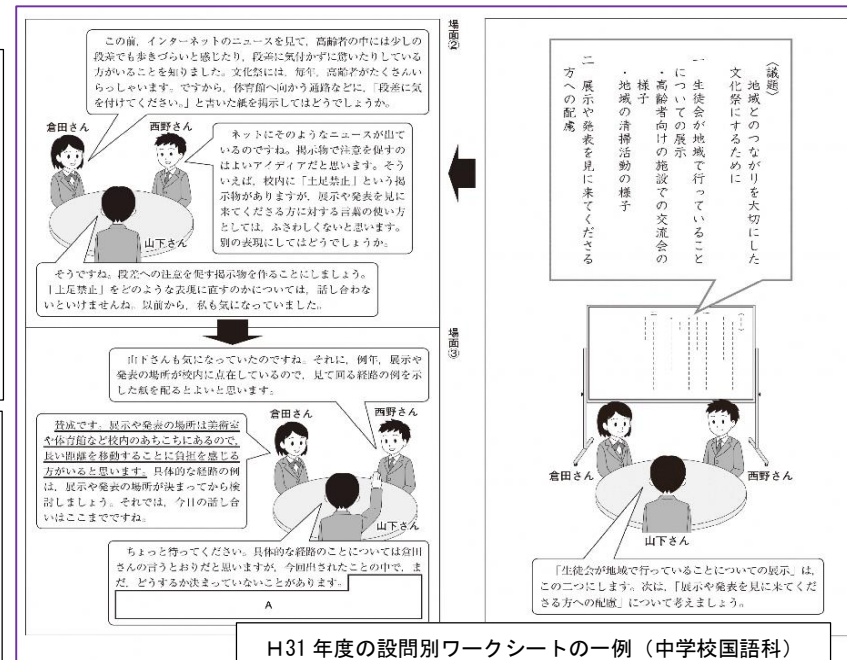
→ **(B) 特徴的な問題、
(C) 設問別ワークシート**

3 校内研修に生かす

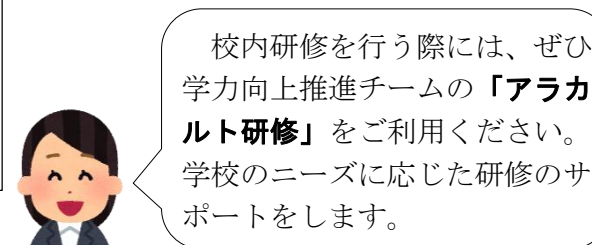
校内研修等で調査問題を解いてみる

教師自らが調査問題を解き、児童生徒に身に付けさせたい力を把握・共通理解し、「特徴的な問題」の「学習指導上の留意点」や「指導のポイント」を参考に、授業改善に向けた校内研修が実施できます。

→ **(B) 特徴的な問題、(C) 設問別ワークシート**



H31年度の設問別ワークシートの一例（中学校国語科）

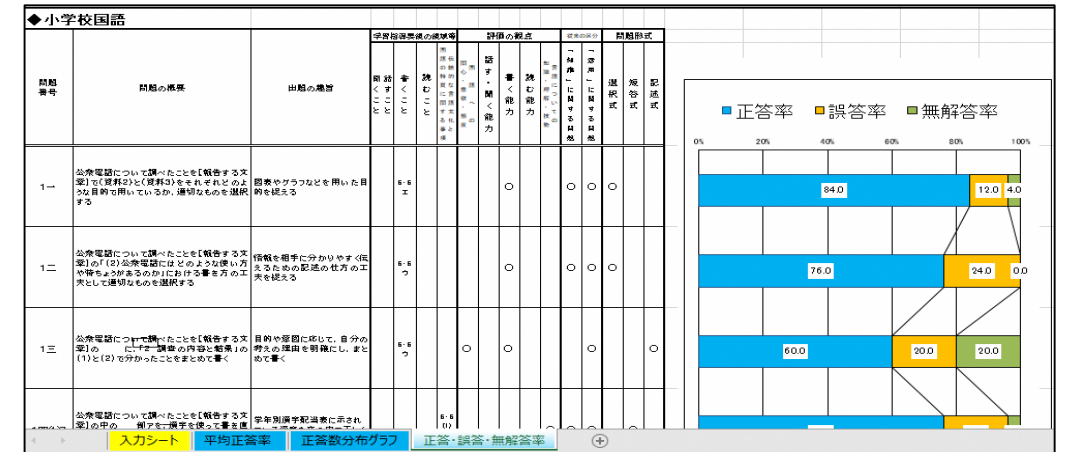


校内研修を行う際には、ぜひ学力向上推進チームの「アラカルト研修」をご利用ください。学校のニーズに応じた研修のサポートをします。

活用のための支援ツール

(A) 令和2年度簡易版分析支援ソフト（7月下旬HP掲載予定）

採点后、自校の児童生徒の結果を入力すると、「領域・観点・問題形式別の正答率」や「正答数ごとの児童生徒の分布」、「正答・誤答・無解答の割合」をグラフ化することができるソフトです。学力調査に関しては、グラフ化したものを正答率の高い順に並べ替えることができます。質問紙の回答グラフには、過去2年分の県と国のデータが入っています。（下は昨年度のもの）



(B) 特徴的な問題

（9月上旬HP掲載予定）

学力調査問題のうち、学習指導上重視すべき点や身に付けさせたい力を具体的に示すメッセージとなる問題を選んでいきます。「学習指導上の留意点」や「指導のポイント」を示してあります。

(C) 設問別ワークシート

（10月下旬HP掲載予定）

学力調査の設問を大問ごとにワークシートにしたものです。大問1題につき10～15分程度で取り組むことができます。

